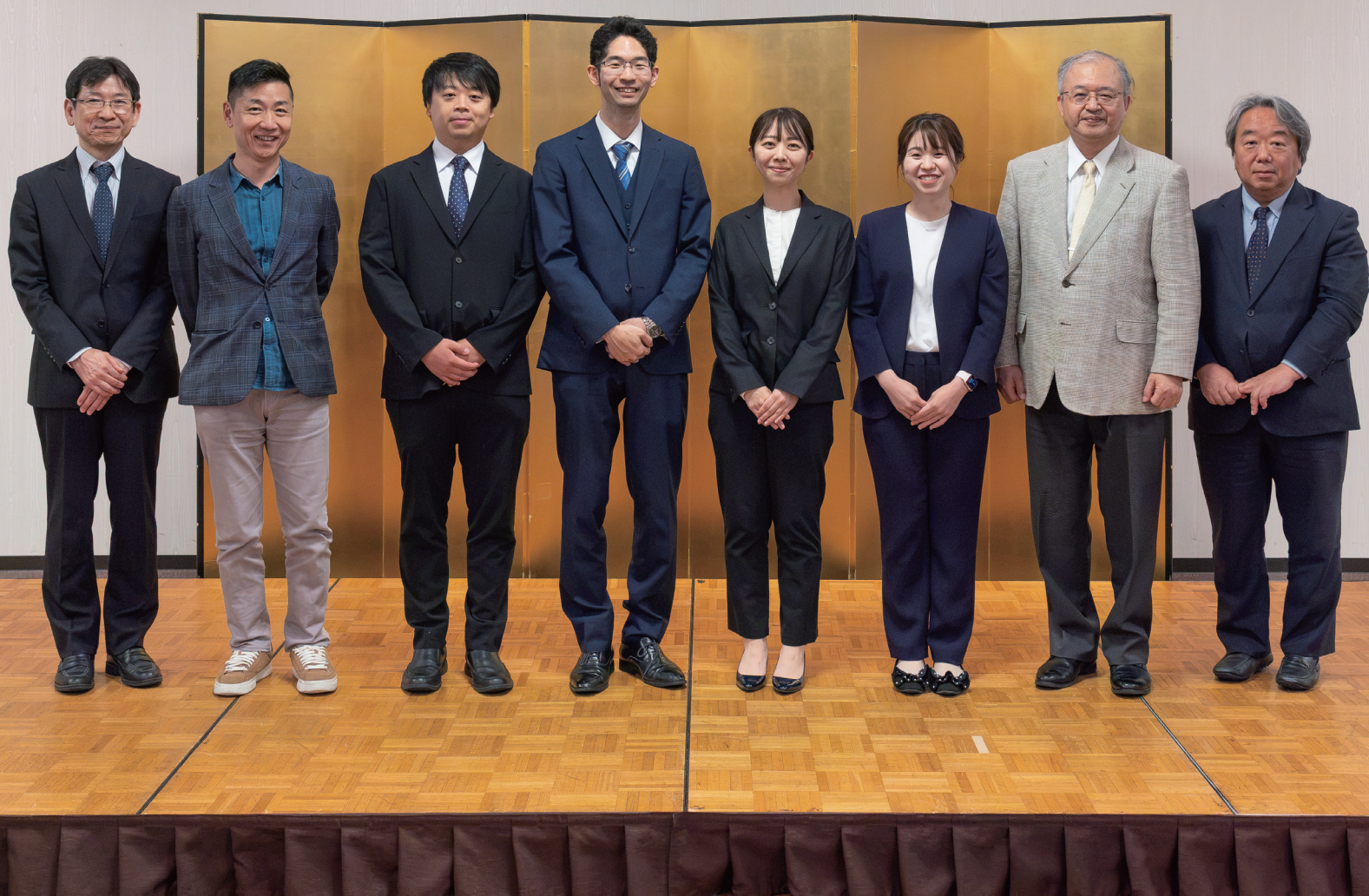


北陸の眼科医をつなぐ情報マガジン

FREE PAPER

EYELINK

2026
Vol. 30



第10回

北陸 4 大学眼科合同研究会 in 金沢

金沢医科大学

佐々木 允

富山大学

阿部 慎也

金沢大学

齋藤 玲

福井大学

鈴木 万理恵

第10回 北陸4大学 眼科合同研究会

節目の第10回、4大学が集結 連携と研鑽が拓く眼科医療の未来

第10回北陸4大学眼科合同研究会が本年5月22日(金)、金沢市にて開催されました。本研究会は、北陸エリアの眼科医療を牽引する富山大学、金沢大学、福井大学、金沢医科大学の4校が緊密に連携し、地域医療の拡充や研究活動のさらなる活性化を目指すものです。若手医師たちによる日頃の研鑽の成果を捉えた貴重な研究発表が行われ、節目となる第10回を迎えた今年は、参加者同士のさらなる活発な交流と親睦のなかで、大学の垣根を越えた熱意ある切磋琢磨の場となりました。

AI活用から臨床研究まで 多角的な視点の4演題

北陸4大学眼科合同研究会は午後7時にスタートし、第1セッションと第2セッションに分かれて4大学の若手医師による研究発表が行われました。本研究会は、各大学の持ち回りで開催されており、第10回となる今回は金沢大学が当番世話人を務め、ホテル金沢を会場に開催されました。

研究発表に先立ち、金沢大学の東出朋巳教授が挨拶に登壇し、感謝と会への期待を次のように述べました。

「本日はご多忙のところ、各大学の先生方にお集まりいただき誠にありがとうございます。本研究会は、今回をもちまして第10回の節目を迎えることとなりました。本会が継続的に発展を遂げてこれ残したのは、ひとえに皆様のご尽力の賜物と存じます。今年も各大学より、大変興味深い研究発表をいただけることを、心より楽しみにしております。活発な質疑応答が行われることを期待するとともに、懇親会におきましても研究交流を深めていただければ幸いです」

第1セッションは福井大学の稲谷大教授が座長として進行を務めました。まず、第一演者・金沢医科大学の佐々木允先生が「AIを用い



た白内障自動診断」について発表し、続く第二演者・富山大学の阿部慎也先生が「網膜神経節細胞の生存と軸索投射に必須な転写因子の基礎研究」について報告しました。

第2セッションは、座長を金沢医科大学の佐々木洋教授に交代し、第三演者・金沢大学の齋藤玲先生が「全国角膜移植調査における緑内障手術関連水疱性角膜症の実態」について、そして最後の演者・福井大学の鈴木万理恵先生が「グラアルファ点眼液による房水カラム拡張」についてそれぞれ研究発表を行いました。いずれの演題も参加者の高い関心を集め、会場は真剣な雰囲気になりました。

熱い質疑が飛び交い

議論と交流がより深まる

第1・第2両セッションを通じて、参加者からの積極的な挙手による質問が相次いだほか、くじ引きにより指名された参加者からも具体的な質問や意見が次々と寄せられ、議論は一層の深まりを見せました。また、演者からも「白内障以外の領域における診断・加療へのAI活用」や「XFGの予後に対する術式的影響」、「緑内障患者における主経路からの流出促進を示唆する所見の臨床的解釈」といった実践的な問いかけがなされ、具体的な



助言が共有されるなど、参加者が互いに刺激を受けながら学びを深める、有意義な時間となりました。

さらに、「正確性が確認できれば健診等での活用が期待できる」「術式別のデータをさらに解析することで新たな知見が得られるのでは」といった今後の研究推進に向けた建設的な意見や助言も交わされ、研究への意欲が高まる活気ある雰囲気になりました。

すべての発表終了後、次回の当番世話人を務める富山大学の林篤志教授は、閉会のあいさつとして次のように述べました。

「あつという間の2時間だったのではないでしょうが。各大学の先生方には大変素晴らしいご発表をいただき、多くの学びを得ることができました。第1回開催当初より、株式会社ニデックのご支援のもと、4大学による医

局交流の場として継続開催できておりますことを、大変ありがたく感じております。今回は会場に空いている席がほとんどないほどの先生方にご参加いただき、本研究会への関心の高さを改めて実感いたしました。来年度も今回同様、多くの先生方にご参加いただき、各大学から優れた研究発表が行われることを心より期待しております」

会場には合わせて49名の眼科医師や関係者が参加し、合同研究会は終了しました。続いて会場を移し行われた懇親会では、例年にも増して多くの参加者が集い、大学や立場を越えた交流が活発に行われ、終始和やかな懇親の場となりました。次回は2027年の5月28日(金)に富山市で開催される予定です。



第10回 北陸4大学眼科合同研究会 第2セッション

座長：佐々木 洋 先生 (金沢医科大学)

『全国角膜移植調査における緑内障手術関連水疱性角膜症の実態』

演者：齋藤 玲 先生（金沢大学）



【目的】角膜移植全国調査を用い、緑内障手術関連水疱性角膜症（BK）の臨床特徴を検討した。

【方法】BK 1,941 眼中、緑内障濾過手術・チューブシャント術後 BK（IGS-BK）404 眼とレーザー虹彩切開術後 BK（LI-BK）353 眼を比較し、1 年移植片透明性および移植片不全の危険因子を解析した。

【結果】IGS-BK は LI-BK より若年（72.8 歳 vs. 77.2 歳）かつ男性優位（64.6% vs. 18.4%）であった。

術式は DSAEK が両群最多であった。1 年透明性維持率は IGS-BK 82.2%、LI-BK 90.5% で有意差を認め（ $P = 0.002$ ）、

IGS-BK 内では落屑緑内障（XFG）が 73.0% と最不良であった。多変量解析では XFG および若年が移植片不全の独

立危険因子であった。

【結論】IGS-BK では緑内障病型が予後に影響し、特に XFG では周術期・術後管理の強化が重要である。

用語集

- 水疱性角膜症（bullous keratopathy：BK）：角膜内皮機能の低下により角膜が浮腫をきたし、水疱形成や視力低下、疼痛を生じる疾患。進行例では角膜移植が必要となる
- 緑内障手術関連水疱性角膜症：緑内障手術後に発症する BK。術中・術後の内皮障害や、チューブ接触、慢性的な炎症・眼圧変動などが原因となる
- DSAEK (Descemet's Stripping Automated Endothelial Keratoplasty)：角膜内皮移植の一種。患者自身の角膜内皮とデスメ膜を除去し、ドナーの内皮・後部実質を移植する術式。現在広く行われている

質問

- XFG の予後が悪い理由として、術式の違いは関係していますか
- XFG の予後が不良でしたが、年齢や性別などの交絡因子の影響について

『グラアルファ点眼液による房水カラム拡張』

演者：鈴木 万理恵 先生（福井大学）



【目的】リパスジル塩酸塩水和物・プリモニジン酒石酸塩配合点眼液（グラアルファ）が上強膜静脈への房水流出を促進するか。

【方法】前向きランダム化二重盲検クロスオーバー試験。健康成人 24 名 24 眼に割付結果に従い、グラアルファ、プリモニジン酒石酸塩・プリンゾラミド配合懸濁性点眼液（アイラミド）、プリモニジン酒石酸塩点眼液（アイファガン）のうち、最初に指定された点眼液を評価対象眼に単回点眼し、2 日以上あけて次に指定された点眼液を単回点眼し、更に 2 日以上あけて最後に指定された点眼液を単回点眼した。点眼前、2 時間後、8 時間後にそれぞれ上強膜静脈中の aqueous column をスリットランプの接眼レンズに接続した iPhone で動画撮影し、aqueous column 幅の拡張率を測定した。

【結果】グラアルファで、点眼前と比較し点眼 2 時間後において有意に aqueous column の拡張を認めた。

点眼 2 時間後に、グラアルファでアイラミドよりも有意に aqueous column の拡張を認めた。

【結論】グラアルファ点眼後に、上強膜静脈中の aqueous column の拡張を認め、主経路からの房水流出が促進されることが示された。

用語集

- aqueous column：スリットランプで観察した際の上強膜静脈内を流れる房水の幅

質問

実際の緑内障患者さんで、主経路からの流出促進を示唆する所見を、臨床上にどのように捉えておられるか、ご経験があれば教えていただきたいです

第10回 北陸4大学眼科合同研究会 第1セッション

座長：稲谷 大 先生 (福井大学)

『AI を用いた白内障自動診断』

演者：佐々木 允 先生（金沢医科大学）



近年、さまざまな医療分野で AI を用いた診断補助が進展している。白内障領域においても AI を活用した報告は増加しているが、用いられる画像、解析手法、診断精度、判定可能な病型は様ではない。金沢医科大学では、簡易型徹照カメラを独自に開発し、これにより撮影した前眼部徹照画像を用いた白内障 AI 診断の開発を進めている。従来は徹照画像を CNN ベース手法を用いて解析していたが、皮質白内障（COR）や water cleft（WC）など、同心円状あるいは円周方向に広がる病変では検出が困難であった。そこで今回、Vision Transformer 系モデルである Swin Transformer Base（Swin-B）を基盤とし、Faster R-CNN および極座標変換を組み合わせた新たな診断手法を開発し、従来法との精度比較を行った。その結果、COR、PSC、RD、WC のいずれにおいても検出精度の改善を認めた。Swin-B と極座標変換を導入した新手法は、白内障特有の放射状混濁に対して特に高い識別性を示し、自動診断精度の向上が期待される。

用語集

- CNN：畳み込みニューラルネットワーク。画像解析に広く用いられる AI モデルの一種
- Vision Transformer：自己注意機構を用いて画像を解析する AI モデルの一種
- Faster R-CNN：候補領域生成と分類・位置推定を行う物体検出アーキテクチャの一種
- 極座標変換：画像を距離と角度に基づいて表現し直す画像処理手法

質問

白内障以外の領域について診断、加療に AI を活用することはありますか

『網膜神経節細胞の生存と軸索投射に必須な転写因子の基礎研究』

演者：阿部 慎也 先生（富山大学）



マウス網膜は胎生期に眼杯から形成され、網膜を構成する全ての神経細胞とミュラー細胞は共通の未分化前駆細胞から時期特異的に分化することで順次産生される。網膜神経節細胞 (RGCs) はその中でも最初期に生まれ、その軸索は脳へ投射することで視覚において重要な役割を担っている。

今回我々は、網膜の発生・分化に重要な転写因子をコードする遺伝子の機能解析を行う中で、これまで網膜における機能が不明であった Scratch1/Scratch2 (Scrt1/2) という互いに相同性の高い遺伝子に着目した。Scrt1 に対する血清抗体や Scrt2 に対する RNA プローブを作成し、マウス網膜を用いた組織学的解析を実施したところ、Scrt1 が胎生期から成体の RGCs に強く発現していることがわかった。そこで Scrt1/2 を同時にノックアウトしたマウスを作成して網膜の免疫染色を行ったところ、コントロールに比較して RGC 密度が胎生期は出生後有意に減少した。さらに Scrt1/2 ノックアウトマウスに軸索トレーサーを硝子体注射することで脳への軸索投射を観察すると、OKR に重要な神経核への投射が有意に減少していることを見出した。これらの結果から、転写因子 Scrt1/2 は視運動反射に重要な RGCs のサブタイプの生存に必須であることが示唆された。

用語集

- RGCs：retinal ganglion cells
- 転写因子：ある遺伝子がコードする機能が発揮されるために DNA から RNA への転写される際に、転写を調節（活性化 or 抑制）する機能を持つタンパク質
- OKR：optokinetic response 視運動性反射、視機性眼球反応

質問

- マウスの神経節細胞を初代培養して、遺伝子を導入した実験のご経験はございますか
- 実臨床において神経節細胞の生存を促すために、眼圧下降以外に意識されていることはございますか

明日の眼科医を目指して 日夜頑張っている 研修医のみなさんを紹介しています。

新人医師紹介

NEW DOCTOR INTRODUCTIONS



富山大学 眼科
日下 紘貴

●眼科を選択したきっかけ
両親が眼科医であり以前より身近な存在でしたが、初期研修でのローテーション時に患者さんのQOLに直結する領域であること、そして治療の満足度の高さに魅力を感じ眼科を選択しました。

●頑張っていること
現在は専攻医2年目として、白内障手術をはじめとする手術手技の習得や、日々の診療レベルを向上させるべく熱意を持って研鑽を積んでいます。



富山大学 眼科
辻 弥紀

●眼科を選択したきっかけ
診断から治療まで完結できる独立性や、視機能の維持・向上を通じて生活の質を維持し、ときに改善しうる眼科診療に魅力を感じ、選択しました。

●頑張っていること
入院主治医や外来担当医、白内障手術の執刀など初めての経験に苦労することも多いですが、大学の先生方や関連病院の先輩方が親身に相談に乗ってくださり、恵まれた環境で勉強させていただいております。



金沢大学 眼科
藤田 将次郎

●眼科を選択したきっかけ
手術手技の繊細さや面白さに加え、眼という小さな臓器に計り知れない奥深さがあると感じたからです。わずかな所見から病態を考え、全身疾患との関連も含めて診療を組み立てる過程は非常に難しく、日々新たな学びがありますが、その難しさこそが眼科の魅力だと実感しております。今後も眼科の奥深さを探究し続けながら、より良い医療を提供できる眼科医を目指したいと考えています。



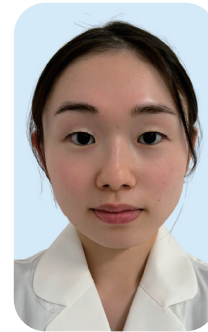
金沢大学 眼科
吉森 大輔

●眼科を選択したきっかけ
手術後の患者さんが目の前が明るくなつて、見えるようになったと言った笑顔がうかべるところを見て、やりがいがあるなと感じたことです。眼科の独特な検査や診察に苦戦しておりますが、これから研鑽を積み重ね、患者さんのQOL向上につなげていきたいです。



金沢医科大学 眼科
田畑 玲

●眼科を選択したきっかけ
外来見学や臨床実習を通じて、眼科は診察・検査・手術が有機的に結びつき、患者さんの視機能やQOLの改善に直接貢献できる魅力的な診療科であると実感しました。特に、微細な所見から病態を読み解く診断学の面白さと、顕微鏡下で行う高度かつ繊細な手術に強く魅力を感じています。今後は確かな知識と技術を身につけるとともに、患者さん一人ひとりに寄り添った丁寧な診療を実践できる眼科医になりたいと考えています。



金沢医科大学 眼科
桶家 由樹子

●眼科を選択したきっかけ
患者さんの生活に直結する「見えること」を支えられる点に魅力を感じ、眼科を選びました。

●頑張っていること
現在は日々の診療を通して基本的な診察手技の習得に努めるとともに、手術への理解を深めることに力を入れています。患者さんに寄り添った丁寧な診療を心がけています。



金沢大学 眼科
高杉 駿太郎

●眼科を選択したきっかけ
眼科医を志したきっかけは、研修中に多様な診察機器・検査を駆使しながら診療を行い、専門性の高い手術・処置を実践されている先生方の姿に強い憧れを抱いたことです。加えて、軽音楽部で楽器演奏に打ち込んできた経験から、繊細な手技や集中力を要する作業にやりがいを感じる自分の性格が、眼科診療の特性と合致していると考えたためです。



福井大学 眼科
坊農 真広

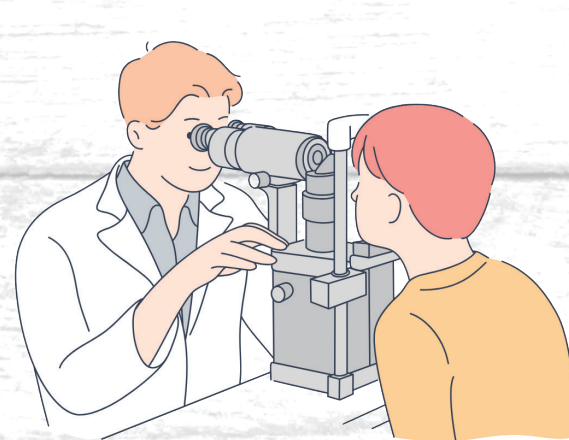
●眼科を選択したきっかけ
手術の結果が直接患者さんの視機能やQOLに反映される点に魅力を感じたためです。また、白内障手術をはじめとしたマイクロ下での繊細な操作に興味を持ち、眼科を志望しました。

●頑張っていること
現在は、正確な診断と治療方針の決定に直結するため、スリットや眼底などの所見の取り方を重点的に学び、指導医の先生方にも確認しながら再現性のある診察ができるよう努めています。



金沢医科大学 眼科
久保 理香子

●眼科を選択したきっかけ
眼鏡をかけて世界がくっきりと見えたことが、眼科に興味を持ったきっかけです。豚眼実習に参加した際、眼という精緻な臓器の奥深さと細やかな手技が求められる眼科の手術の面白さに強く魅了されました。繊細な手技が求められる眼科で、一つひとつ丁寧な診療を心がけていきたいと思っています。



福井大学 眼科
河端 祥吾

●眼科を選択したきっかけ
もともと内科なども含めて幅広く進路を考えていましたが、細かい作業を行うことが好きで、学生時代からマイクロソージェリーには強い憧れを持っていました。研修中に眼科を回り助手として硝子体手術に入った際、術野に広がる眼底の美しさに感動しました。そして手術以外にも、専門性が高く検査・診断から治療まで一貫して関わることができる点や、外来で継続して診ていく面白さにも大きな魅力を感じ、最終的に眼科を選択しました。



福井大学 眼科
松原 史郎

●眼科を選択したきっかけ
学生として過ごす中で将来的には手術をしたい思いはもともとありました。そんな中、大学4年生の初めての臨床実習は眼科であり、実習初日に硝子体手術の見学をしました。当時は何をしているかさっぱり分かりませんでした。暗闇の中で繊細な手術が行われていて感動したことを覚えています。

●頑張っていること
外来での診療、入院患者の診察、レーザーや手術など様々なことを経験させていただいています。少しずつ出来ることを増やし眼科医として成長していきたいと思っています。

眼科用レーザー・超音波画像診断装置のルミバードメディカル



ルミバードメディカルジャパン株式会社
104-6009 東京都中央区晴海1-8-10 晴海アイランドトリトンスクエアオフィスタワーX棟 9F
TEL. 03-5859-0470 FAX. 03-5859-0471
<https://ophthalmology.lumibirdmedical.com/>



ポータブルスリットランプのパイオニア コーワからの新提案！



製造販売元
興和株式会社

東京都中央区日本橋本町三丁目4-14 URL: <https://www.kowa.co.jp>

カメラモデル

ポータブルスリットランプ

コーワ SL-19 plus

「コーワ SL-19 plus」は、販売名「コーワ SL-19」のカメラモデルの愛称です。



販売名: コーワ SL-19 届出番号: 13B1X10038000046 クラス分類: I



富山大学眼科
中村 友子

悪性リンパ腫疑い症例のための 統合診断システム／READsystem®

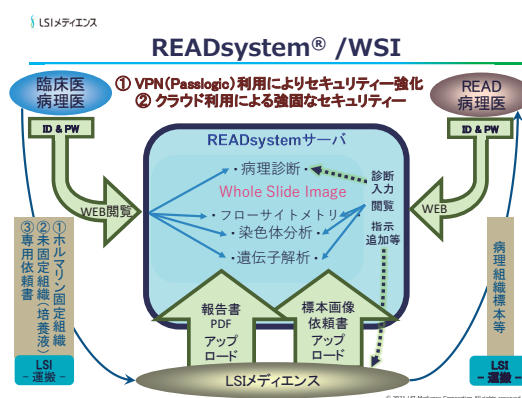
眼科領域の悪性リンパ腫が疑われる症例で、診断に苦慮した経験はありませんか。特に眼窩リンパ腫や眼内悪性リンパ腫は稀少疾患であり、確定診断には専門的な知識と技術が必要です。そのような時に活用できるのが「READsystem®」です。

READsystem®は東北大学の一迫玲教授が創始した悪性リンパ腫の統合診断システムで、病理組織学的観察に加え、フローサイトメトリー、染色体分析、遺伝子解析を組み合わせた精密診断を提供します。通常は保険適応外となるフローサイトメトリーや遺伝子再構成検査も、READsystem®であれば保険で実施できる点が大きな利点です。

このシステムの最大の魅力は、どここの病院からでもLSIメディアエンスを通して検査を提出できる点にあります。大学病院や専門施設でなくても、地域の医療機関から直接依頼できます。全国270施設以上が登録し、年間5,000例以上の診断実績があります。

眼科領域では、結膜、涙腺、眼窩組織に加え、硝子体検体も対象となります。

診断は全国の血液病理専門医が担当し、当院の病態・病理学講座の高田尚良教授もその一員として診断に携わっております。Web上で組織像やフローサイトメトリー報告書が閲覧でき、転院先でも診断情報を共有できます。稀少な眼科リンパ腫の診断困難例において、専門病理医との連携により迅速で正確な診断を得られることは、患者さんにとっても私たち眼科医にとっても大きなメリットといえます。

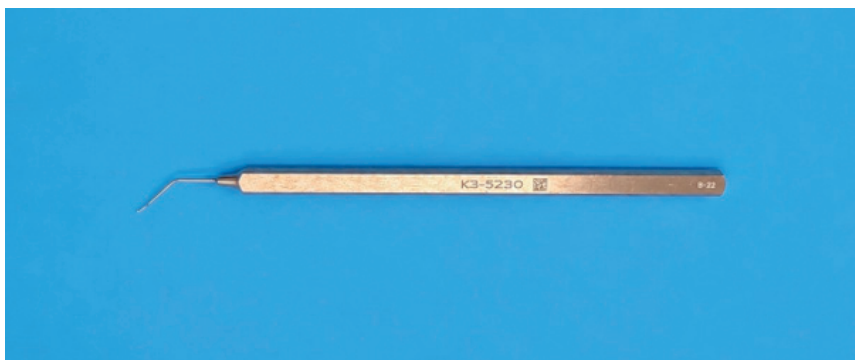


福井大学眼科
市橋 祐志

角膜切開におけるカウンター・トラクションを用いたIOL挿入

角膜切開（CCI）で白内障手術を行う場合、角膜は強膜に比べ組織の剛性が高くインジェクター先端を導入する際に強い抵抗があるため、強角膜切開の時よりIOL挿入を失敗しやすいです。

この抵抗を安全に解消するコツが、シンスキーフックを用いたカウンター・トラクションです。サイドポートからシンスキーフックを挿入し、サイドポートを手前方向へ軽く牽引します。さらにインジェクターを創口に押し当てると、フックとインジェクターで眼球が強固に固定されます。この状態でインジェクターを操作すれば、先端を前房深くまで無理に潜り込ませる必要はなく、創口に先端を当てるだけで、IOLは吸い込まれるように滑らかにデリバリーされます。力任せに押し進めるのではなく、対抗牽引によって創口の抵抗を相殺し、物理的な力のバランスを適切に制御することが、低侵襲な手術を達成するポイントです。なお、この手技はインジェクターを持たない手でフックを操作し眼球を固定する必要があるため、片手操作が可能なインジェクターを使用する場合に限られる点が注意です。



金沢医科大学眼科
宮下 久範

涙道診療で迷わないための ワンポイント

涙目を訴える患者さんの診療では、「本当に涙道の問題なのか」を見極めることが重要です。特別な手技や検査に頼る前に、まずは診察中の所見を丁寧に拾うことを心がけています。

具体的には、診察中の自然な瞬目の様子や涙のたまり方、下眼瞼の弛緩の有無を観察します。涙液が下眼瞼にたまりやすい場合は排出障害を疑いやすく、逆に涙が少なく乾燥傾向であればドライアイが関与している可能性も考えます。

また、涙嚢部を軽く圧迫して逆流の有無を確認する（図参照）ことで、涙道疾患のスクリーニングが可能です。この際、診察に集中するあまり力が入りすぎてしまうことがあります。強く押しすぎると患者さんに不快感や痛みを与えるだけでなく、正確な所見が得られにくくなるため注意が必要です。さらに、通水検査では「通る・通らない」だけでなく、抵抗感や逆流のタイミング（同側の涙点から逆流するか、

対側の涙点から逆流するか）を意識することで、閉塞部位の推定に役立ちます。

涙道疾患は症状が似ていても原因が異なることが多く、診断に迷う場面も少なくありません。だからこそ、日常診療の中で得られる小さな所見を積み重ねることが、適切な治療選択につながると考えます。

涙嚢部の圧迫

- 涙嚢部（内眼角のやや下方）を軽く圧迫して、逆流の有無を確認する。
- 逆流した場合は涙道疾患を疑う所見となる。
- 強く押しすぎず、患者さんに不快感を与えないよう注意する。

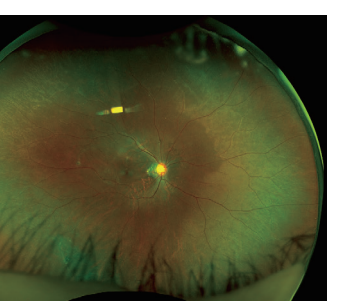


金沢大学眼科
竹森 勇人

網膜か視神経か、迷ったらFAF

原因不明の視力低下や視野異常に遭遇し、眼底所見に乏しい時、「視神経疾患か、それとも網膜疾患か」と悩むことは少なくありません。そんな時の「コツ」として役立つのが眼底自発蛍光（FAF）です。

FAFは無侵襲かつ迅速に、網膜色素上皮（RPE）や網膜外層の障害を可視化できる検査です。例えばAZOORでは病変境界に沿った帯状hyperAF・MEWDSでは点状hyperAFを認めることがあり、通常の眼底検査では捉えにくい網膜外層障害の広がり



※ FAFで後極部に認めるhyperAF。光視症・視野異常・EZ障害とあわせ、AZOOR spectrumが疑われる所見。

福井赤十字病院

福井県福井市月見2丁目4-1
0776-36-3630



【スタッフの紹介】

常勤眼科医4名、毎週木曜は鯖江清水眼科より小児眼科外来、福井大学からは毎週月・金曜日に黄斑注射外来、2か月に1回角膜/神経眼科外来、若手への白内障や硝子体手術指導にも来ていただいております。外来では視能訓練士8名、看護師2名、MS2名で運営しています。

【診療実績・治療実績】

外来数は1日70〜80件です。手術はデイサージャリー室（アイセント）で火曜日以外の午前午後で行っています。白内障1,495件、緑内障57件、網膜硝子体139件、ICL28件、その他83件

です。また、外来ブースでの処置（レーザー治療・硝子体注射など）は1,492件させていただいています。

【アピールポイント】

当院の周辺には5.6件ほど眼科クリニックがあり地域の眼科医療を担う中核施設として、難症例を含めた白内障やMIGSをはじめとする緑内障手術、硝子体手術等、地域のクリニックでは対応が難しい症例を受け入れており、術後が安定すれば再び逆紹介させていただき福井県の眼科医療ネットワークを支えています。これからも地域に根差した診療を努めていきますのでよろしくお願いいたします。

済生会高岡病院

富山県高岡市二塚387-1
0766-21-0570



【スタッフの紹介】

常勤医2名、看護師2名、視能訓練士2名、医療事務3名

外来の状況に応じて内科から看護師が応援に来られます。また、富山大学眼科の医師が非常勤で角膜外来と眼炎症外来に来て下さっています。

【診療実績・治療実績】

令和7年度は、白内障手術295件、眼瞼手術211件、涙道手術16件を実施しました。午前中に一般外来を行っており、午後は手術、術前検査、硝子体注射、レーザー治療を行っています。

【アピールポイント】

当院眼科は、高岡市を中心とした県西部地域の患者様が、身近な場所で安心して眼科医療を受けられるよう、地域の先生方、院内各科、富山大学附属病院などと連携しながら診療を行っています。総合病院内の眼

科として、全身疾患に伴う眼病変や、全身治療に関連する眼合併症にも対応しやすい点が強みです。

当院ではこれまでも、流涙症や涙道狭窄に対して涙道内視鏡を用いたチュービングを行い、地域で対応できる眼科診療の幅を広げてきました。さらに今年度からは緑内障手術を開始し、iStent、Hydrus、μフックトラベクロトミ、プリザーフフロマイクロナメント、トラベクレクトミーを施行する体制を整えています。

また、角膜外来と眼炎症外来では、富山大学附属病院から応援医師に来ていただき、専門性の高い診療を行っています。今後も、大学病院や地域の医療機関と連携しながら、高岡市を中心とした県西部地域の視機能を守る医療に貢献していきたいと思

日本企業発

非球面・回折型3焦点IOL

Vivinex Gemetric

Vivinex Gemetric Plus

同一加入度数でありながら遠近のエネルギー配分が異なる2タイプをご用意。重視する距離に応じて、

- ▶左右眼で2種を入れ分けるPairing
- ▶両眼Vivinex Gemetricの選択が可能。

Vivinex Gemetric

モデル: XY1-G
販売名: Vivinex ジェメトリック
承認番号: 30500BZX00263000

Vivinex Gemetric Plus

モデル: XY1-GP
販売名: Vivinex ジェメトリックプラス
承認番号: 30600BZX00229000

Vivinex Gemetric Toric

モデル: XY1-GT2, XY1-GT3, XY1-GT4, XY1-GT5, XY1-GT6
販売名: Vivinex ジェメトリック トーリック
承認番号: 30500BZX00264000

Vivinex Gemetric Plus Toric

モデル: XY1-GPT2, XY1-GPT3, XY1-GPT4, XY1-GPT5, XY1-GPT6
販売名: Vivinex ジェメトリックプラス トーリック
承認番号: 30600BZX00230000

製造販売元: HOYA 株式会社
東京都新宿区西新宿6-10-1

Vivinex, multiSert, Gemetric, Gemetric PlusはHOYA株式会社またはその関連会社の商標または登録商標です。

HOYA

SURGICAL OPTICS

HOYA Surgical Optics
HOYA 株式会社 メディカル事業部
お問い合わせ先: 中部営業所 〒464-0850 名古屋市中千種区今池5丁目24-32 今池ゼナールビル3F TEL: 052-735-6601

2024-05-11_H50J_XY1-G_XY1-GT_XY1-GP_XY1-GPT_AD_IP_01

眼科手術補助剤、眼科用副腎皮質ホルモン剤
トリウムシノロンアセトニド眼注用
処方箋医薬品（注意 医師等の処方箋により使用すること）

マキュエイド® 眼注用40mg

MaQaid® OPHTHALMIC INJECTION

効能又は効果、用法及び用量、禁忌を含む注意事項等情報等については電子添文をご参照ください。

薬価基準収載

製造販売元
わかもと製薬株式会社
東京都中央区日本橋本町二丁目2番2号
文献請求先及び問い合わせ先: メディカルインフォメーション

2026年4月作成. I



オランダ ドルク社



EVA NEXUS

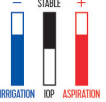
眼科手術システム

VacuFlow VTi

VacuFlow VTi (Valve Timing intelligence) は、ピストンを利用した流体制御システムであり、Vacuumモード/Flowモードを設定することが可能です。



BSSの残量通知を2段階のアラートで行い術中の安全性を確保



SMART IOP™でより安定した前房圧を維持





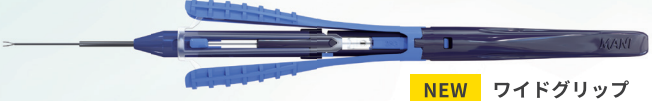
アールイーメディカル株式会社
R E MEDICAL, INC.
www.re-medical.co.jp



The best quality in the world, to the world.

自分の指先で、 網膜に向き合う

補強パイプによる高い剛性、狙った位置で操作しやすい安定した先端動作、精密な先端形状により、繊細な手術をサポートします。



NEW ワイドグリップ



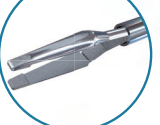
スリムグリップ

3 タイプの先端形状

症例に応じた最適な把持アプローチが可能



ラウンドタイプ
ワイドグリップ / スリムグリップ



スクエアタイプ
ワイドグリップ / スリムグリップ



ILM タイプ
ワイドグリップのみ

マニー株式会社

〒321-3231 栃木県宇都宮市清原工業団地 8-3
TEL: 028-667-9911
MAIL: opt@mani.inc



眼科製品ページ



ドライアイ治療剤 (TRPV1*拮抗薬)

アバレプト®懸濁性点眼液 0.3%

AVAREPT® OPTHALMIC SUSPENSION 0.3%

モツギバトレブ懸濁性点眼液
処方箋医薬品[※] 注) 注意—医師等の処方箋により使用すること
※Transient receptor potential cation channel subfamily V member 1

薬価基準収載

新発売

効能又は効果、用法及び用量、警告・禁忌を含む注意事項等情報等については電子添文をご参照ください。

製造販売元 **千寿製薬株式会社**
大阪市中央区瓦町三丁目1番9号
文献請求先及び問い合わせ先：カスタマーサポート室

2026年4月作成

ブレイクスルーを患者さんへ

バイエル ミッション「Health for all. Hunger for none」(すべての人に健康を、飢餓をゼロに)の実現に向けて、患者さんの治療に変革をもたらすイノベーションを推進し、人々のクオリティ・オブ・ライフの向上に貢献していきます。

バイエル薬品株式会社 <https://pharma.bayer.jp>

Health for all, Hunger for none



400kHz Full-Range SS-OCT

BMizar

400,000A-scans/sec^{※1}の高速スキャンと最大100億Voxelの解像度を持つフルレンジ超広角SS-OCTA

前眼部最大スキャン深度は15mm^{※2}で角膜や前房、水晶体などが高画質で撮影可能

100kHz Full-Range SS-OCT

Yalkaid

※1 BMizar が対象となります。 ※2 Yalkaid が対象となります。



TowardPi

株式会社 **ニコン** ソリューションズ
www.nikon.com

販売名 眼撮影装置 OCT BMizar 届出番号 307ABBZX000050001 特定保守管理医療機器 眼撮影装置
販売名 眼撮影装置 OCT Yalkaid 届出番号 307ABBZX000060001 特定保守管理医療機器 眼撮影装置



未来へ駆ける。

人との繋がりを大切にしながら、
わたしたちは、走り続けます。



セントラル メディカルグループ

医療機器総合商社
セントラルメディカル株式会社
本社
〒920-0024 石川県金沢市西念3丁目1番5号
TEL.076(262)1111代 FAX.076(223)7255
富山支店・福井支店
<http://www.centralmedical.co.jp/>

福祉用具レンタル・販売
株式会社メディベック
本社
〒920-0024 石川県金沢市西念3丁目1番5号
TEL.076(224)5600代 FAX.076(224)6116
金沢営業所・富山営業所・福井営業所





DISPOSABLE MICROSURGERY KNIFE



日本力。 私たちが生産の拠点を置く岐阜県関市は、刀剣の産地として800年の歴史があります。「折れず曲がらずよく切れる」という日本刀の神髄は、日本が誇る鍛造の技術によって、繊細かつ強靱な切れ味となってKAI 鍛造眼科メスにもしっかりと受け継がれています。

「匠創」は技術力と創造力を表す漢字を使った新ブランド名で、赤い落款をイメージしたロゴにはKAIのクオリティと誇りが込められています。

販売名：マイクロサージェリーナイフ
医療機器認証番号：219ABBZX00200000

仕様は変更することがあります



◀WEBサイトはこちら

製造販売元
カイ インダストリーズ株式会社
医療器事業本部 国内営業部

〒501-3992 岐阜県関市小原名1110
Phone (0575) 28-6600 Fax (0575) 28-6611
<https://www.kaimedical.jp/>



ドライアイ治療剤
(水分分泌促進/ムチン分泌・産生促進/涙液中脂質増加点眼剤)

ジクアソルナトリウム点眼液

処方箋医薬品^注

薬価基準収載

効能又は効果、用法及び用量、禁忌を含む注意事項等情報については電子添文をご参照ください。

ジクアス®LX点眼液3%
DIQUAS®LX ophthalmic solution

注) 注意—医師等の処方箋により使用すること

製造販売元

参天製薬株式会社

大阪市北区大深町4-20
文献請求先及び問い合わせ先
製品情報センター

2024年9月作成
DL241000A42WC_A

**24時間・365日。
見守り、そして駆けつけます。**

特別キャンペーン開催中!

I'm ALSOK!

ALSOKは、とことん、あなたのために。



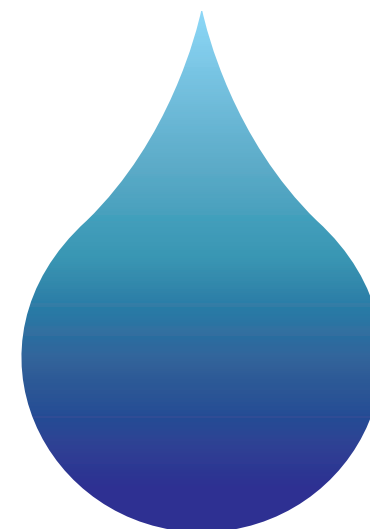
北陸総合警備保障株式会社

代表取締役社長 **森本 昇**

本社 石川県金沢市松島1丁目41番地
TEL.076-269-8686

富山支社 富山県富山市間屋町2丁目8番地28号 TEL.076-452-2800
高岡支社 富山県高岡市あわら町1番地1号 TEL.0766-21-2112
福井支社 福井県福井市成和1丁目1504番地 TEL.0776-23-1306

一滴の約束。



その一滴に、あらゆる技術をそそぐ。

その一滴に、揺らぐことのない思いを託す。

その一滴は、私たちの誇り。

私たちは、点眼薬製造・販売のスペシャリスト、
日東メディック。

あなたの瞳を守る、

その一滴一滴に、私たちが生きています。

日東メディック株式会社
富山県富山市八尾町保内1-14-1

ZZ0500C19A
2019年12月作成

	日程	会名	場所	時間	演者
石川	2026年 10月18日(日)	第46回金沢医科大学眼科研究会	金沢市文化ホール	13:00～	山口 剛史 先生 (国際医療福祉大学市川総合病院)
	2026年 12月13日(日)	第357回金沢眼科集談会	ホテル日航金沢	10:00～13:00	石田 晋 先生 (北海道大学) 海老原 伸行 先生 (順天堂大学)
	2027年 4月4日(日)	第358回金沢眼科集談会	ホテル日航金沢	10:00～13:00	渡辺 彰英 先生 (京都府立医科大学) 平岡 孝浩 先生 (筑波大学)
	2027年 6月12日(土)	第13回北陸神経眼科セミナー	金沢東急ホテル	17:00～20:00	東山 雄一 先生 (横浜市立大学) 柏井 聡 先生 (愛知淑徳大学)

	日程	会名	場所	時間	演者
富山	2026年 8月9日(日)	第124回富山大学眼科臨床カンファレンス～弱視斜視小児眼科講習会～	富山県民会館 (611号室)	13:00～15:00	林 恩音 先生 (山形大学) 三原 美晴 先生 (富山大学)
	2026年 9月12日(土)	第125回富山大学眼科臨床カンファレンス	富山県民会館 (611号室)	18:30～20:20	近藤 永子 先生 (眼科三宅病院) 奥村 直毅 先生 (同志社大学)
	2026年 10月10日(土)	第20回北陸オフサルミックフォーラム	オーक्सカナルパークホテル 2F「鳳凰 東の間」	17:00～19:10	丸山 和一 先生 (富山大学) 三木 篤也 先生 (愛知医科大学) 大島 裕司 先生 (福岡歯科大学) 中村 誠 先生 (神戸大学)
	2026年 10月24日(土)	第73回とやま眼科学術講演会	ホテルグランテラス富山 4F「祥雲の間」	18:30～20:30	平塚 義宗 先生 (順天堂大学) 馬場 隆之 先生 (千葉大学)
	2026年 11月21日(土)	第74回とやま眼科学術講演会	ANAクラウンプラザホテル富山「ASUKA I」	18:30～20:30	松村 沙衣子 先生 (東邦大学医療センター大森病院) 瓶井 資弘 先生 (愛知医科大学)
	2026年 11月29日(日)	第94回富山眼科集談会	富山県民会館 (611号室)	13:30～16:30	久富 智朗 先生 (岐阜大学)
	2027年 3月13日(土)	第126回富山大学眼科臨床カンファレンス	富山県民会館 (611号室)	18:30～20:30	秋山 雅人 先生 (九州大学) 1名未定
	2027年 5月30日(日)	第95回富山眼科集談会	富山県民会館 (611号室)	13:00～16:30	上野 真治 先生 (弘前大学)

	日程	会名	場所	時間	演者
福井	2026年 8月29日(土)	福井県眼科集談会	福井商工会議所	18:00～	大塚 篤司 先生 (近畿大学)
	2026年 11月28日(土)	福井県年忘れ眼科勉強会	福井商工会議所	18:00～	田邊 美香 先生 (九州大学) 丸山 和一 先生 (富山大学)
	2027年 1月16日(土)	福井県眼科集談会	福井県繊維ビル	17:00～	今井 尚徳 先生 (関西医科大学) 嶋元 暢 先生 (杉浦眼科)



最大
250,000
A-scans/秒

“狙った位置を撮る”から“必要な画像を選ぶ”へ

光干渉断層計

Glauvas

NIDEK

機能説明動画一覧



販売名: 光干渉断層計 RS-1